

平成28年度南牧中学校が88名でスタートしました

4月6日に、今年度の1学期始業式と入学式が行われ、新学期がスタートしました。

新入生は39名、緊張の中にも期待や希望に満ちあふれた表情が見られ、爽やかな入学式となりました。

全校生徒数は88名。3年生を中心に1・2年生が協力し、学習や行事、生徒会など充実した活動になることを願っています。

記念撮影の様子



入学式 武井晃学校長式辞より

大地の雪はすっかり消え、畑は黒々となり、トラクターがあわただしく動き出す季節となりました。それとは対称的に頂上は真っ白な雪で覆われ、青空にそそり立つ八ヶ岳の雄大さ。この風景は、感動的です。

39名の新入生のみなさん、南牧中学校入学おめでとうございます。在校生・教職員一同、皆さんの入学を心より歓迎いたします。

中学3年間は、心も体も大きく変化します。また、この時期はたくさんのごことを吸収できる時期です。大人への礎・いいかえれば自分で生きていける基をつくる時です。その大事な三年間ですが、あっという間に過ぎてしまいます。

中国の朱子学を築いた朱熹が「光陰矢のごとし。少年老い易く、学成り難し」と、言っています。光陰の光（こう）は光、つまり太陽のことです。陰（いん）は、陰（かげ）、太陽に対して、月を表します。太陽は、一日、月は陰暦では、一ヵ月を表します。つまり、「光陰矢のごとし」は、「月・日が過ぎるのは、矢が飛ぶように早くすぎる」と言う意味です。「少年老い易く、学成り難し」は、「若いうちはまだ先があると思って勉強に必死になれないが、すぐに年月が過ぎて年をとり、何も学べないで終わってしまう、だから若いうちから勉学に励まなければならない」という意味です。中学生のみなさんにぴったりの言葉です。

中学生として、学習の他にもう一つ大切にしてほしい時間の使い方があります。赤ちゃんの時は、ほとんど親に見てもらい、その後も今までに多数の人がみなさんの健やかな成長のために動いてくれました。それに対してみなさんは、自分のことに精一杯で他のひとのために時間を使うことはあまりできなかったと思います。新たな中学校生活は、生徒会・部活動をはじめ、他のひとのために動くことが多くなります。自分のことばかり考え、自分のための時間ばかり使う人は、信頼されません。自分の時間を誰かのために使える人間に成長して欲しいです。